

令和6年度 HIV 感染症医師実地研修の募集要項

- 1、対象：西日本のエイズ診療拠点病院医師（初期研修医は除く）で所属施設長の推薦を受けた者。研修終了後にHIV診療に継続して関わる者が望ましい。
- 2、受講者調書には、研修を希望する理由、HIV 診療経験の有無（有りの場合、経験年数や患者数など）今後の HIV 診療予定なども記載をお願い致します。* 書類選考があります。（受講者調書は、<https://osaka.hosp.go.jp/department/khac/medical/kensyu/>からもダウンロードできます。）
- 3、研修内容：講義と病棟実習（3週間）

※日本エイズ学会認定医・指導医制度の指定研修会

講義内容の概略（2024年度の例）

主な講義内容	他科・招聘医師の講義、見学など
HIV/AIDSの基礎知識と疫学	HIVと歯科疾患
HIV感染症の診断	HIV感染症と皮膚疾患
HIV急性感染	HIV感染症と眼科疾患
新規抗HIV薬	HIV陽性者に対する外科手術
日和見感染症診療 PCPを中心に	HIV感染者における消化管病変
日和見感染症診療（HIV脳症、PML、クリプトコッカス症）	抗HIV薬の特徴と薬剤師の役割
免疫再構築症候群（IRIS）	外来・病棟看護と療養支援
STD（性行為感染症）の診療	HIV陽性者の在宅療養支援
血友病診療・凝固因子製剤の使い方	HIV陽性妊婦の看護支援
入院症例の管理の実際	HIVとカウンセリング
	神経心理検査と事例検討
	地域で暮らすHIV陽性者の療養生活を支える～医療ソーシャルワーカーにできること～
	HIV感染症と薬物依存
	臨床検査科見学
	薬害エイズと医療体制
	話しにくい話題を取り上げて話すには？
	HIV感染症の最近の話題：U=Uをめぐって
	特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権（MERS）
	特定非営利活動法人スマートらいふネット／c hotCAST
	特定非営利活動法人 CHARM
	MASH 大阪／community center dista

※令和6年9月30日・10月1日のHIV感染症研修会、10月2日のHIV医療におけるコミュニケーションとチーム医療研修会に参加していただきます。

4、定員

3名程度（書類選考があります）。

5、研修日時

令和6年9月30日（月）～令和6年10月18日（金）

6、実施場所

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

臨床研究センター3階 カンファレンス室、外来、病棟他

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2-1-14 TEL:06-6942-1331(代)

7、その他の取り決め事項

- 1) 今回の研修は、講義のみではなく実際に患者さんを診療して頂きますので、白衣等もご用意願います。
- 2) 長期間の研修となりますが、必ず全日程に参加可能な方を推薦して頂きますようお願いいたします。
- 3) 研修にかかる費用については一切必要ありませんが、研修以外にかかる費用（交通費、食費、宿泊費）については受講者自身で負担して下さい。
※宿泊施設が必要な場合は、ご相談ください。
- 4) 研修修了者については修了認定証を交付いたします。

8、受講者調書送付先

〒540-0006 大阪市中央区法円坂2-1-14

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

管理課 職員研修部 金光 瞳 TEL:06-6942-1331(代), FAX:06-6943-6467

メール: kanamitsu.hitomi.dy@mail.hosp.go.jp

9、お問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

臨床研究センター HIV情報担当職 辻 宏幸 TEL:06-6942-1331(内 6350)

10、申込み締切日 令和6年7月31日(水)

※定員に満たない場合は締め切りを延期する場合があります。